

健康とまちのにぎわい創出事業 【所管：①企画部 企画課、②健康こども部 健康増進課、③健康こども部 スポーツ振興課、④商工部 商工労政課】

事業の背景	<p>市では、子どもから高齢者まですべての市民が健康で長生きできる地域づくり、そして、それに留まらず雇用創出や所得向上などにより、若者をはじめすべての人々がいきいきと住み続けられる「健康都市弘前」の実現を目指し、分野横断で様々な取組を進めています。</p> <p>人口減少・少子高齢化の進展や、市民のライフスタイル・商業環境の変化等により、空き店舗の増加や来街者の減少など中心市街地の活力低下が深刻化しています。市民からのニーズとして、商業機能のみならず、健康・医療、福祉、子育てなどの機能充実を望む意見が多いこともふまえ、市では令和4年3月に、中心市街地の今後のまちづくりの方向性と将来の姿をまとめた「弘前市中心市街地活性化ビジョン」を策定しました。当該ビジョンでは、取組の方向性の1つとして、中心市街地が「市民の健康づくりの場」となることを目指しており、また中心市街地にある旧市立病院跡地を「健康づくりのまちなか拠点」として整備していくことも見据え、市民の健康増進と中心市街地活性化を結び付けた様々な施策を行っていく必要があります。</p> <p>併せて、弘前大学健康未来イノベーション研究機構（以下「弘前大学COI-NEXT」）では、健診と啓発を即日で行う「QOL（啓発型）健診」の開発・実証を進めています。従来型の健診（法定の健診）は、健診日から結果判定日まで相当の期間を要するため、保健指導が必要な方に即日対応ができず、受診者の行動変容につながりにくいことが指摘されているため、このQOL健診を広く普及展開していくことで、市民の健康意識の向上と行動変容につなげていく必要があります。</p>				
	<p>地域再生計画の期間</p> <p>令和4年度～令和8年度【5ヵ年】</p>				
	連携自治体	なし			
事業概要、決算額、成果【R6年度分】	項目	取組内容	効 果	写 真	決算額 (単位：円)
	市民の健康増進と 中心市街地のにぎ わい創出に向けた 取組	<p>●健康とまちのにぎわい創出事業</p> <p>1 市民の健康増進や健康意識の向上及び中心市街地のにぎわい創出に向けて、健康をテーマとした取組の試行及び効果検証、一部自走化の検討</p> <p>○中心市街地のにぎわい創出を目指し、市内大学生を中心とした団体と連携し、まちなかへの来訪者の増加を目的に、中心市街地で活動する店舗を対象とした取材記事を作成し、市ホームページ等に掲載し情報発信を実施。（記事掲載店舗：7店舗）</p> <p>○DX分野を活用した健康無関心層の行動変容に向けた取組として、弘前大学COI-NEXT参画企業のDeSCヘルスケア(株)の健康アプリ「kencom（ケンコム）」を運用。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おでかけマップ」をリリースし、弘前市中心市街地を歩くウォーキングマップと連動した取組として、マップ上のウォーキングコースを歩くことで、アプリ内で使えるポイントが貯まる仕組を開始。 アプリ上で日々の健康行動を記録する「行動メニュー」に弘前市独自項目として「雪かきをする」を追加するとともに、雪かきによる健康維持・増進に関する内容を市ホームページ等で掲載。 <p>○中心市街地飲食店で提供できる減塩ヘルシーディッシュについて、地元大学とのコラボレーションも視野に入れたメニュー開発及び市民への普及展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 弘前市食生活改善推進員会×花王(株)コラボレシピ集掲載メニューと各店舗の既存メニューを組み合わせたヘルシーメニューを中心市街地の2店舗で提供。 R5年度に作成したコラボレシピ集を市健康イベント等で市民に配布しヘルシーメニューの周知を実施。 <p>2 市民の健康増進や健康意識の向上及び中心市街地のにぎわい創出に向けた取組を継続して実施していくための持続可能な運営体制づくりに向けた基盤構築、実証試行等</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康×まちづくり検討・実装会議：「まちなかのまちづくりを推進していく組織」として形成し、実証試行として、まちなかイベントのにぎわい創出に関し、①企画立案、②開催調整、③運営の一部を実施。 会議4回、社会実装（健康参加モデル事業の実践）2回 <p>3 市民の健康増進や健康意識の向上に係る施策の効果検証のエビデンスとなる成果指標の試験導入、修正及び本格導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の既存計画（健康ひろさき21等）のKPIを再整理して設定した以下の成果指標による検証を行った。 <p>健康への意識の変化（イベント参加者）、QOL健診（受診者数）、kencom加入者数、歩数（kencom加入者）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりのまちなか拠点の供用開始に向けた各事業の自走化も見据え、様々な関係団体や企業等と連携してイベントを実施するなど、健康と中心市街地のにぎわい創出に資する様々な取組を進めることができました。 アプリに弘前市独自の「楽しみながら健康に」なる要素を新たに取り入れるなどにより、健康無関心層等へのアプローチを行い、アプリ登録者数を増加させることができました。 外食、内食両方の側面から普及活動を行うことで、市民にヘルシーメニューの普及展開をより効果的に行うことができました。 様々な分野（商店街、スポーツ等）のキーマンにより構成する組織により、QOL健診を中心としたまちなかイベントを実証試行しました。 成果指標の各指標を検証し、その数値推移から各指標に関連する取組効果を確認することができました。 	<p>【店舗取材の様子】</p>  <p>【kencom】</p>  	

事業概要、
決算額、成果
【R6年度分】

- 4 QOL健診を広く市民に展開するとともに、将来も持続可能な事業として継続していくための効果的な事業スキームについての具体的手法等の検討
・弘前大学COI-NEXTプロジェクトのWG、運営会議のほか、4つの分科会（構造強化、Well-being総合指標、身体的QOL、精神的・社会的QOL）において幅広く協議を重ね、実施に向けた調整を実施。

- 5 弘前大学COI-NEXTと連携して行うQOL健診及び健康プログラムを活用したモデル事業の継続実施、効果検証及び一部自走化の検討

○弘前市民・弘前市内企業を対象に、簡易型QOL健診とCOI-NEXT参画企業が提供する健康プログラムをセットとした「食生活改善モデル事業」を弘前市内事業者等に実施。：2企業、プログラム参加者数100人
・ハウス食品グループ本社(株)による「味覚検査を活用した減塩プログラム」と雪印メグミルク(株)による「骨の健康を目指して乳製品摂取3ヶ月チャレンジ」（1企業、参加者50人）
・花王(株)による「スマート和食プログラム」（1企業、参加者50人）

○中心市街地にて、市民の健康増進と健康意識の向上に寄与するイベントとQOL健診を実施

- ・イベント参加者：約2,050人、QOL健診体験者：477人

イベント名	日時	人数	内容
プレミアム朝市	令和6年7月21日	来場者300人 QOL健診87人	・QOL健診（簡易版） ・ラジオ体操 ・子どもワークショップ ・ウォーキング
まちなか健康交流イベントin土手町	令和6年9月8日	来場者500人 QOL健診143人	・QOL健診（簡易版） ・健康目標ツリーづくり ・野菜クイズ ・ウォーキング
医食動源フェスティバル	令和6年11月3日	来場者500人 QOL健診61人	・QOL健診（簡易版） ・まちなか健康ウォークラリー ・健康プログラム体験 ・国スポ、障スポ体験ブース ・健康体操
健康交流イベントinヒロ口	令和7年2月15日、16日	来場者750人 QOL健診186人	・QOL健診（簡易版） ・健康プログラム体験 ・健康商品紹介 ・子どもワークショップ ・ちびっこ記者クラブ

・本取組を持続可能な事業スキームによる継続的な取組としていくため、メタボリックシンドロームの予防・改善を図る、成果連動型民間委託契約方式（PFS：Pay For Success）の事業として、事業実施に向けた案件形成等の調整を行いました。

【レシピ集】



【食生活改善モデル事業の様子】



37,457,200

・プログラム前後を比較したところ、多くの参加者において健康意識の向上や行動変容が見られました。特に、内臓脂肪の減少を目指すスマート和食プログラムでは、参加者の86.0%がプログラム開始時に比べて内臓脂肪が減少しました。

・イベントでは、弘前大学COI-NEXT参画企業をはじめ、中心市街地の商業施設や飲食店などと連携してイベントを実施するとともに、子どもが楽しめる体験メニューを組み込むことで、働き盛り世代を含む多くの市民に来場いただきました。また、保護者にQOL健診を受診いただくことで、主なターゲットである働き盛り世代にアプローチすることができました。

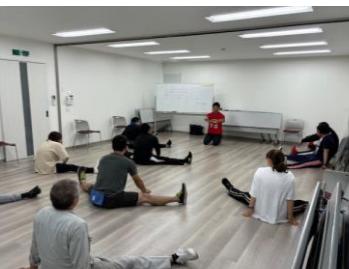
【健康イベントの様子】



【まちなか情報センターに設置したベジチェック】



事業概要、
決算額、成果
【R6年度分】

	<p>○ヒロ口、シーナシーナ弘前店、まちなか情報センター、市役所、その他拠点にベジチェック等を設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベジチェック®（※）体験者数（延べ）：52,755人 ※弘前大学COI-NEXT参画企業のカゴメ株が開発した推定野菜摂取量測定機器 ・内臓脂肪計 測定者数：488人 <p>○セントラルフィットネスクラブ弘前店と連携し作成したウォーキングマップの内容を更新して充実を図るとともに、各種イベントを通して市民へ配布した。</p>	<p>・中心市街地の商業施設等と連携してベジチェックを設置し、利用を促すことで、市民の健康意識の向上、行動変容につなげることができたほか、中心市街地の日常的な来街機会の創出につなげることができました。</p>	<p>【ウォーキングマップ】</p> 	
働き盛り世代への運動教室	<p>●働き盛り世代への運動教室</p> <p>働き盛り世代の運動習慣の定着を図るため、市内企業においてスポーツ指導員及び市内スポーツチームによる運動教室を実施したほか、簡易型QOL健診及び健康や運動の啓発指導を実施。（実施企業数：7社、参加人数：191人）</p>	<p>・ストレッチ等の簡単にできる運動を行うことで、参加者の運動意欲の醸成を図りました。</p>	<p>【運動教室の様子】</p> 	600,000
まちなかでの健康づくりの取り組み支援	<p>●弘前市中心市街地賑わい創出事業費補助金</p> <p>多様な団体が中心市街地で実施する健康をテーマとしたイベント等の事業費の一部を補助。</p> <p>交付実績：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康をテーマとした朝市への補助 ・まち歩き型の謎解きイベントへの補助 ・健康増進に繋がるダンスイベントへの補助 	<p>・様々な健康をテーマとしたイベントの開催により、市民の健康意識の向上と中心市街地の賑わいの創出を図ることができました。</p>	<p>【健康イベントの様子】</p> 	1,419,900
健康づくり応援人材の育成	<p>●QOL健診普及推進事業</p> <p>主にQOL健診の測定・結果説明スタッフとして従事する健やか協力隊員の養成を行うとともに、同隊員が実際に市が主催するヒロ口・地域・企業でのQOL健診に従事することで、QOL健診の全市的普及展開、市民の健康づくりを推進。</p> <p>(R6養成人数：延べ80人) ※測定スタッフ61名、結果説明者19名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎教養研修のほか実際にQOL健診を体験 ・市が主催するQOL健診R6実施回数：44回（従事人数延べ355人） 	<p>・QOL健診の全市的普及展開のため、市、企業、地域が行うQOL健診の測定スタッフとして従事することで、運営体制が強化されました。</p>	<p>【QOL従事の写真】</p>  <p>【養成研修会の写真】</p> 	1,626,466
働き盛りの健康アップ推進	<p>●働き盛り世代の健康アップ推進事業費補助金</p> <p>企業等が行う従業員等の健康増進に向けた取組に係る経費の一部を補助。</p> <p>交付実績：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康機器の購入経費の補助（1件） ・フィットネスクラブ等の利用に係る経費の補助（3件） 	<p>・企業等における健康増進に資する取組が推進され、健康に働く従業員が増加し、健康意識の向上及び行動変容につなげることができました。</p>	<p>【血圧測定時の写真】</p> 	720,591

事業概要、 決算額、成果 【R6年度分】	<p>●ひろさき地方創生パートナー企業からの事業提案 「市民の健康寿命延伸」をテーマとした先駆的かつ官民連携で取り組む事業を企業から募集し、提案のあった事業を実施。（2者） ○（社福）弘前豊徳会 ・事業内容：65歳以上の弘前市民を対象にロコモ度テストと運動プログラムを実施。 ○（一社）がんと働く応援団 ・事業内容：がん防災マニュアルの作成・配布、市内中学校でがん経験者によるがん講話の実施。（2校）</p>	<p>・様々なノウハウ・アイデアを持つ民間企業と行政が、ひろさき地方創生パートナー企業協定を締結し、連携事業を実施することで、より効率的・効果的に「市民の健康寿命延伸」につながる取組を実施することができました。</p>	<p>【がん講話の様子】 </p>	1,810,000

合計： 43,634,157

重要業績評価 指標（KPI）の 推移	指 標							事業効果	地方創生に効果があった ※「非常に効果的であった」、「相当程度効果があった」、「効果があった」、「効果がなかった」の中から一つを選択。
	R4	R5	R6	R7	R8 (最終)	累計			
指標①	中心市街地の歩行者・ 自転車通行量(人)	目 標	12,418	13,918	15,418	16,918	18,418	事業効果	【総括的な成果】 民間の事業者及び弘前大学と連携し、働き盛り世代を対象としたQOL健診の普及展開や健康機器の設置等を中心市街地で展開することにより、市民の健康意識の向上、行動変容、にぎわい創出を図りました。また、本取組の継続実施を見据え、様々な団体や企業等との協働による実証試行等を進めるとともに、企業等が行う従業員向けの健康増進に資する取組を推進しました。
		実 績	11,971	10,952	11,589				
指標②	メタボリックシンドローム 該当者・予備軍の割合 （%）	目 標	33.0	31.5	30.0	28.5	27.0	今後の 方向性	【今後の方針（R7年度の取組内容を含む）】 健康意識の向上や行動変容のきっかけづくりに留まらず、メタボリックシンドロームの予防・改善に特化した、成果連動型民間委託契約方式（PFS:Pay For Success）による事業として継続し、これまで中心市街地等で普及展開を図ってきたQOL健診と、メタボリックシンドロームを予防・改善する健康プログラムを併せて提供するとともに、当該プログラムの枠組みにおいて、地元企業の参画を促すほか、子どもの頃から生活習慣に関する健康教育を行うことなどに取り組みます。将来的にはソーシャルインパクトボンド（SIB）への移行も見据え、市民の健康寿命の延伸と社会保障費の削減に加え、ヘルスケア産業の雇用創出へとつなげていきます。
		実 績	33.7	32.6	33.2				
指標③	特定健康診査の受診率 （%）	目 標	34.6	39.3	44.0	48.7	53.4	今後の 方向性	【今後の方針（R7年度の取組内容を含む）】 健康意識の向上や行動変容のきっかけづくりに留まらず、メタボリックシンドロームの予防・改善に特化した、成果連動型民間委託契約方式（PFS:Pay For Success）による事業として継続し、これまで中心市街地等で普及展開を図ってきたQOL健診と、メタボリックシンドロームを予防・改善する健康プログラムを併せて提供するとともに、当該プログラムの枠組みにおいて、地元企業の参画を促すほか、子どもの頃から生活習慣に関する健康教育を行うことなどに取り組みます。将来的にはソーシャルインパクトボンド（SIB）への移行も見据え、市民の健康寿命の延伸と社会保障費の削減に加え、ヘルスケア産業の雇用創出へとつなげていきます。
		実 績	30.2	34.1	36.8				